

2025年度

メイク・ブライダル科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M1-K04
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
文化教養 I					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	2 0	1	河崎 グロリア	
授 業 の 目 的						
海外からのお客様へ簡単な英語での接客ができるようにする。 言語だけではなく、文化も同時に学ぶ事により、グローバルな視野を持てる人材育成を目的とする。 英語フレーズを覚えるだけではなく、検索の仕方など接客のツールとして使う意識を身に付ける。						
授 業 の 到 達 目 標						
・ お出迎えからお見送りまでの一連の流れを英語で接客をすることができる ・ メイク関連の語彙（単語・表現）を身に付ける ・ 世界の動向を知り国際感覚を磨く						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
最終実技試験			1 0 %	2 0 %	2 0 %	5 0 %
課題（グループワーク）			5 %	2 0 %	5 %	3 0 %
小テスト			1 0 %	%	%	1 0 %
受講態度			%	%	1 0 %	1 0 %
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
接客会話表現集（オリジナル教材）						
授業内容・授業計画						

内 容	時間	課題 試験	評価
1. Self introduction (英語でのあいさつ・自己紹介)	2		
2. 接客の流れ (接客で使われる表現)	6		
美容で使われる単語			
3. 店頭ロールプレイング	6		
3-1 テスト練習			
4. 接客テスト	4		
5. まとめ 英語ゲーム 国際感覚について	2		
			○
その他	関連科目		

シラバス（授業概要）	年 度		2025 年度		
	科目コード		M1-K06		
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
接客 I				メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	50	2	安部 珠恵・伊藤 麻衣子
授 業 の 目 的					
接客業務に携わる者として、サービスの意義や価値を理解し、お客様に対するおもてなしの心とそれを具現化する型を学ぶ。学生は接客者としての資質のひとつである対人技能を高めるため、ふさわしい話し方、正しい敬語の使い方をマスターし、顧客との良好な人間関係構築の手法を習得する。またサービス業では冠婚葬祭に関する社交業務の意味としきたりを理解することが必須であり、それぞれの行事にふさわしい形式の対応を学び、顧客に提案できるようにする。 技術の証明としてサービス接客検定3級を取得する お客様視点を持ち、自身で判断ができるビジョンを身につける。					
授 業 の 到 達 目 標					
(1)サービスマンとしての挨拶、姿勢、所作など基本的な項目を徹底して学び、実践できる (2)接客ホスピタリティーの意義を学び、サービス業でプロとしてのおもてなしを実践できる (3)敬語を使って依頼、謝罪、勧誘、提案などの会話がスムーズにできる (4)冠婚葬祭に関する知識を学び、活用することができる (5)接客検定3級を取得できる。準1級取得に向けた準備が出来る。 お客様視点、企業視点をもつことができる。					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	△	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
サービス接客検定（筆記）		50%	%	%	50%
模擬試験（筆記）		30%	%	%	30%
課題		%	%	10%	10%
授業態度		%	%	10%	10%
使用テキスト・教材					
サービス接客検定3．2級 テキスト＆問題集 株式会社翔泳社 サービス接客検定3級 実問題集 早稲田出版					

授業内容・授業計画２			
内　　　容	時間	課題 試験	評価
１．オリエンテーション	２		
２．お辞儀、挨拶の言葉、基本所作	２		
３．サービススタッフの資質とサービスの意義	２		
４．敬語の仕組みと使い方	４		
５．間違った敬語とアルバイト言葉	２		
６．敬語記述問題演習	２		
７．冠婚葬祭に関するマナー	２		
８．商業用語、経済用語の解説	２		
９．ことわざ、時事問題の解説	２		
１０．過去問題演習	６		
１１．サービス接客検定解答と解説	２		
１２．接客ロールプレイング練習	２	○	○
１３．お客様視点とは	２		
１４．クレームの本質 対応	４		
１５．お出迎えからお見送りまで			
15-1 お出迎えからお見送り姿勢 お客様心理	２		
15-2 金銭授受 商品の扱い方	４	○	○
１６．準１級ロールプレイング対策	８		△
その他	関連科目		
実務経験のある教員が担当する科目である			

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M1-K08
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
キャリアコミュニケーション					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1 年	前期	必修	30	1	星野亜季	
授 業 の 目 的						
パソコンの利用は、もはや仕事上なくてはならないものである。円滑な業務遂行のためには、基礎的なパソコンスキルと、それを用いたコミュニケーション能力が必要である。 この授業で学生は、Office 系ソフトの基本操作を学習し、社会人として必要なパソコンスキルを習得する。Microsoft Office Specialist PowerPoint2019 資格試験合格を目指すなかで、試験対策問題を解きながら、実務に役立つ操作のコツや資料作成方法を学ぶ。						
授 業 の 到 達 目 標						
・ Word・Excel・PowerPoint の基本的な操作ができる ・ 見栄えの良い資料の作成ができる ・ Microsoft Office Specialist PowerPoint2019 資格試験合格						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
資格試験可否			20%	20%	10%	50%
課題提出（Word）			10%	10%	%	20%
課題提出（Excel）			10%	10%	%	20%
受講態度・出席率			%	%	10%	10%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
・ 講師制作資料 ・ よくわかるマスター MOSPowerPoint365＆2019 対策テキスト＆問題集（FOM 出版）						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 授業内容説明、実力把握	2		
2. Word 基本操作			
2-1. 入力、便利な機能	2		
2-2. 文書作成	2	○	△
3. Excel 基本操作			
3-1. 入力、便利な機能	2		
3-2. 簡単な表の作成	2	○	△
4. MOS PowerPoint2019 対策講座			
4-1. PowerPoint の基礎	2		
4-2. 模擬問題 1	4		
4-3. 模擬問題 2	4		
4-4. 模擬問題 3	4		
4-5. 直前対策	4	○	△
4-6. 資格試験受験	2	○	○
その他	関連科目		

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M1-K09
時間数は4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
メイク基礎					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	240	8	安部 珠恵・横澤明穂 植田彩乃・星野亜季 伊藤麻衣子	
授 業 の 目 的						
A. メイク、ブライダル業界ではお客様の要望に応えるために色彩の知識が必須となる。差別化を図るうえで重要な「似合う色」を提案できることは業界においてもますます重要視されている。そのため、学生はパーソナルカラーの理論を理解して提案できるだけの知識力と色を見分ける力を身につけておかなければならない。また、パーソナルカラー検定モジュール1の取得をすることによってその色彩感覚やカウンセリング力を証明することができる。						
B. 人物をモチーフとし、基本的な人物の描き方を理論的に学ぶ。時間内に何枚も描くことによって対象を瞬間的に捉える技術を習得する。 人物に関わるそのほかの対象（ヘアや服など）も含めて特徴を捉える訓練をする						
C. 正しい皮膚理論、化粧品の成分・効能、スキンケア方法、肌の悩みの対処法など、基礎知識に加えて、現在のトレンド、美容業界についても学ぶ						
D. JMA メイク検定3 級・2 級の取得。 美容従事者として必要なお客様視点を身につけ、メイクオフからスキンケア塗布、フルメイクの基本と徹底的に学ぶ。お客様の肌に触れさせていただくという意識を身につける。						
E. Canva 等を使用して、見栄えの良い資料作成ができる 資料作成時の情報リテラシーを理解する						
授 業 の 到 達 目 標						
A. (1)色彩の基礎、およびパーソナルカラーのルールを覚える (2)色をパーソナルカラーの4 タイプに分類して見分けることができる (3)色の三属性が顔に及ぼす影響を理解する (4)基礎的な配色ルールを使ってイメージに合った配色をすることができる (5)パーソナルカラー検定モジュール1を取得する						
B. 人物の特徴を瞬時に掴み、立体や比率をヘアメイク分析や調整にいかせる視点が身につく メイクやヘアの関係などトータルでのバランス感覚を掴める感性を身につける。						
C. 皮膚の構造、化粧品の成分、スキンケア方法などの知識を言葉でわかりやすく説明することができる。正しい皮膚の基礎知識を身につけ、正しい肌診断ができる。お客様の悩みにあった対処法を提案することができる						
D. JMA3 級・2 級の取得。 お客様の個性や骨格に合わせた、心地の良いスキンケア、メイクが施術できる。 新しい魅力の提案がカウンセリングを通してできる。また実習できる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						

評価項目	評価観点				配点計
	知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度		
試験（筆記）（実技）	50%	%	%		50%
模擬試験（筆記）（実技）	30%	%	%		30%
課題	%	%	10%		10%
授業態度	%	%	10%		10%
	%	%	%		%
使用テキスト・教材					
A. 色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト モジュール1：初級 モジュール1 配色ワークブック パーソナルカラー配色カード PCCS 新配色カード199a B. A3 コピー紙、クレヨン（一人2本）、画板 C. 日本化粧品検定テキスト D. JMA テキスト・メイクボックス E. PC					
授業内容・授業計画					
内 容	時間	課題 試験	評価		
1. オリエンテーション 授業の受け方	2				
2. パーソナルカラーとは	2				
3. 色を見るための3つの条件	2				
4. 色のしくみと三属性	2				
5. 色の地図、色相環とトーン表	2				
6. 色彩心理	2				
7. 基本の配色方法	4				
8. フォーシーズン分類法	2				
9. 過去問題	6	○	△		
10. 検定解答と解説	2				
11. パーソナルカラー体験	2				
12. ロールプレイング	4	○	○		
B.					
1. クロッキーとは何か	2				
2. 人体の基本フォルムとプロポーション	4				
3. バランスと身体の動きの関係					
3-1. 中心軸とバランス	2				
3-2. バランス軸と正中線	2				
4. 理想の人体比率	2				
5. 個体差	2				
6. 特徴を大げさに描く、タッチに強弱をつける	4				
7. 動きのある複雑なポーズ	2	○	○		
C.					
1. ガイダンス 授業概要 自己紹介や目標設定など	2				
2. 皮膚の構造を学ぶ	4				
3. 皮膚の仕組みや働き、機能を学ぶ	4				
4. 肌のお手入れと正しい知識を学ぶ	2				
5. 肌タイプと見分け方	4	○	○		
6. 肌悩みの原因とお手入れについて	6				
7. 肌タイプ別の化粧品や悩みに応じた化粧品の使い方	6				
8. 肌を劣化させるさまざまな要因	4				
9. 美肌をつくる生活習慣について	2				
10. 皮膚科学についてのまとめ グループワーク、ロープレ	6	○	○		

1 1. カウンセリングについて学ぶ	8		
1 2. マッサージについて学ぶ	2		
1 3. クイックマッサージ実習	8	○	○
1 4. 美容機器などについて	2		
D.			
1. 美容技術者とは			
1-1. 技術者の心得	2		
1-2. 道具について 毛素材 手入れ方法	2		
1-3. セッティング	2		
2. 基本のスキンケア			
2-1 表情筋について	2		
2-2. スキンケア手技	6	○	○
3. ベースメイク	4	○	△
3-1. 骨格・肌色補正	4		
3-2. 質感・肌トラブルについて	4		
4. カントゥア			
4-1. 顔分析	8		
4-2. カントゥア・チーク	4		
5. 3級試験対策	20	○	○
6. ポイントメイク～フルメイク	20	○	○
E.			
1. コンセプトマップの作成			
1-1. Word での写真の加工・情報リテラシー	2		
1-2. 簡単なコラージュ作品制作	2		
1-3. グラフ等を用いた、分かり易い資料作成	2		
1-4. Canva の使い方・PP との連携	2		
1-5. 見栄えのするコンセプトマップの作成	2	○	○
その他	関連科目		
この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である			

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M1-K11
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
ヘア基礎					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	80	2	青木俊典	
授 業 の 目 的						
ヘアセットの基礎を、丁寧かつ時間意識を持って学習、習得しヘアメイクの基礎を築く。 お客様のご要望に合ったヘアイメージを理解、提案、実施する為に4つのウエイトについて学ぶ 3つのウエイトの判別が理解でき、イメージにあったヘアデザインができる						
授 業 の 到 達 目 標						
① 基礎技術（ブラッシング、ホットカラー、ピンニング、アイロン、編み込み）を理解し習得 ② 基礎技術を復習しながらの基本的なデザインの習得 ③ 4つのウエイトを理解し、ウエイトに合わせたデザインの習得し表現する						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
終了時テスト			30%	%	%	30%
随時テスト			30%	%	%	30%
受講態度			%	%	20%	20%
技術スピード、理解度			10%	10%	%	20%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
はじめてのセット&アップ アップスタイルの BASIC						
授業内容・授業計画						

[illegible]

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度
				科目コード	M1-K13
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス
クリエイションⅠ					メイク・ブライダル科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1 年	後期	必修	90	3	太田洋・金田いずみ
授 業 の 目 的					
A. 学生が自ら決めたテーマに沿ってデザイン（ヘアアレンジ・ヘアカラー・メイク・ヘアアクセ）を決めウィッグ作品をすることによって、トレンド感・独創性・多様性、そしてヘアとメイクの連動性を実践で学ぶ。また、チームを作り取り組むことで協調性を養い社会で適応できるスキルを身につける。前期で学んだアップ基本技術・メイク基本技術をベースに応用した作品をつくることで、基礎から展開できる技術思考を身につける。 B. 世界や時代の多様な美を知り、幅広いメイク表現を身につける。コンセプトや狙いをメイクで表現し、他者に向けて発信できる作品を作る。自己満足作品ではなく、他者視点を身につける事で、長く美容業界で活躍できる技術思考を身につける。					
授 業 の 到 達 目 標					
A. ヘアデザインに最適なカラーや整髪料の選定が出来る。 個人作品の精度だけではなく、チームでコンセプトを表現する為に、異なるバリエーションや展開をすることが出来る。また他者に作品の意図を効果的にプレゼンできる。 整髪料や、髪飾りなどを使い、フィニッシング調整し完成度の高い作品が出来る。 B. コンセプト抽出が出来る。意図に合ったコスメや道具を選択できる。 狙いに合った、質感やシェイプ・色選択が出来る。作品の先に見る人を想像できる。 ヘアメイク作品を完成させる。					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	△
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○
ロールプレイ		P B L		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	
その他					
成績評価の方法					
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目					
課題・作品（基本技術）		30%	%	%	30%
課題・作品（独創性）		10%	15%	%	25%
課題・作品（芸術性）		15%	10%	%	25%
受講態度		%	%	10%	10%
協調性		%	%	10%	10%

使用テキスト・教材

A. ヘア道具

- ・UP STYLE 1.2.3
- ・ブリーチ攻略本
- ・ホイルワークマジック

B. メイクボックス

授業内容・授業計画

内 容	時間	課題 試験	評価
A			
1. ウイッグの作品作り説明（一連の流れ）	1		
2. チームテーマ・役割・決定	1		
3. デザイン画制作（ヘア・メイク・カラー）	2		○
4. ウイッグカラー施術	6		
5. ウイッグヘアアレンジトレーニング	4		
6. ウイッグメイク	2		
7. ウイッグヘアアレンジ仕上げ（ヘアアクセ）	2		
8. チーム プレゼンテーション	2	○	○
B.			
1. 美は一つではない			
1-1. 世界の美	2		
1-2. 時代のメイク	2		
2. クリエイティブとは			
2-1. 発想力	2		
2-2. 色・形・質感によるイメージ・アイテム選定	2		
3. 半顔メイク			
3-1. 男・女	4		
3-2. 悪・天使	4		△
3-3. 和・洋	4		△
3-4. 若・老	4		△
4. コンセプトを抽出	4		△
5. デザイン画制作	4	○	○
6. モデル実習・撮影	16	○	○
7. まとめ	2		

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度	
				科目コード	M1-K15	
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学科・コース	
ブライダル基礎					メイクブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1 年	通年	必修	120	4	波多野千夏 山下麻由子	
授 業 の 目 的						
ブライダルのプロになる為の AWP 検定試験合格を目指す ブライダル業界を知り、業界で勝ち抜く為の自己表現力や柔軟な発想力を身に付ける ブライダルヘアメイク、スタイリストの即戦力になるような技術、接客力を身に付ける ウェディングに携わる者としての心得や、ブライダル業界の仕事内容、ウェディング全般に関わる 為の知識を学び、ブライダルのホスピタリティ力を身につける。 また就職活動での面接指導や、グループディスカッションを通し自己表現する力を養い、就職活動 に有利となるトレーニングを行い、表現力を身につける。						
授 業 の 到 達 目 標						
A テキストに沿った内容で進みながらも、現在の結婚式の特徴や流行なども織り交ぜながら 講義していく 過去問題集を課題にし、AWP 検定試験の内容を把握する お客様の要望を聞き出すようカウンセリング力を高めながら技術を磨く コロナ禍での結婚式の在り方を学び、変化していく結婚式に柔軟に対応できるような 人間力を身に付ける。 実際のウェディング業界の仕事内容を理解することができる（ブライダル基礎を学ぶ） 現場でのホスピタリティ力を実践できる 結婚式場での職業体験を通し現場での応用力を身につけることができる B グループディスカッションでの発言力を身につけ、面接時で実践できるようにする プランニングを通して個性を磨くことができる 採用試験と類似した面接練習を行い応用力を身につけることができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
A . AWP 検定試験			30%	%	10%	40%
A. B 授業態度			%	%	10%	10%
A. 実技テスト			30%	10%	10%	50%
B. 発表			30%	30%	30%	90%
			%	%	%	%

	%	%	%	%
	%	%	%	%
使用テキスト・教材				
ウェディングプランナーテキスト・過去問題集				
授業内容・授業計画				
内 容	時間	課題 試験	評価	
A				
1. 式場見学	4			
2. オリエンテーション、ブライダル現状	3			
3. ブライダル業界で活躍できる人材とは	2			
4. ヒューマン概論	2			
5. 歴史・言語概論	2			
6. 実務概論（婚礼当日の流れ）	2			
7. クリエイティブ概論（ペーパーアイテム）	2			
8. 広告・企画概論	2			
9. 飲食概論	2			
10. パートナー企業・フラワービジネス	2			
11. 衣裳（和装）	2			
12. 衣裳（洋装）	2			
13. トータルビューティー、写真、映像	2			
14. 撮影、音響、照明、司会、結婚指輪	2			
15. 結婚式出席のマナーしきたり	2			
16. 法令概論	2			
17. 過去問題復習	4			
18. アテンド業務	4			
19. 打掛・紋付羽織袴のたたみ方	4			
20. 衣裳の扱い方、着せ方	4			
21. 新日本髪	12	○		
22. 和髪（面がきれいな下目のシニヨン）	6			
23. 洋装アレンジ（ルーズな編みおろし）	4			
24. 飾りの付け方、コーディネート	2			
25. お色直しクイックチェンジ	6	○		
26. カウンセリングしながらヘアメイク	8			
27. 模擬結婚式参列 余興	3			
28. ブライダルヘアメイクの心構え	2			
29. ブライダルスタイリストの業務	2			
30. フォトスタジオの業務	2			
31. 就職について	2			
B				
1. ブライダル業界の仕組み	2			
2. ウェディングプランナーとは	2			
3. 面接での答え方				
3-1 ピックアップされる人材とは	2			
3-2 自己紹介について	2	○	○	

3-3 面接での心得	2		
4. 結婚式場での仕事内容			
4-1 サービス業の心得	2		
4-2 進行表・席次表の読み方を理解する	2		
4-3 式場にて実践授業	2	○	○
4-4 振り返り	4		
その他	関連科目		
実務経験のある教員が担当する科目である			

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M1-K17
時間数は4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
伝統実技 I					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	60	2	ハクビ京都きもの学院	
授 業 の 目 的						
和装の入門としての浴衣着付けを学び、着物に関わる事柄、小物についても学習し和装文化についての理解を高める。 美しく心地よく着付ける為、体型に合った補正の基礎をしっかりと身につける。 とブライダルやフォト業界でも必要とされる、着付けのプロとしての必須知識を身につける。 留袖着付けだけでなく、衿付けなども学び、順序だけでなく実戦実技を身につける。						
授 業 の 到 達 目 標						
着物小物の名称が言える。 小物の扱いが出来る。正しい畳み方や業種別保管の仕方が理解できる。 体型に合わせた補正が出来る。 浴衣着付けが出来る。 和装の文化が理解できる。 美しい留袖の自装、他装着付けが出来る。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
浴衣着付け			%	%	30%	30%
帯			%	10%	%	10%
留袖			30%	%	30%	60%
使用テキスト・教材						
典雅着物学院テキスト						

[illegible]

関連科目

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M1-K19
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
トータルビューティⅠ					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	120	4	奥原 麻美・疋田 聡子	
授 業 の 目 的						
A. JNAC ネイリスト技能検定試験 3 級を通じ、初心者レベルのネイルケア、ネイルアートの習得。 JNA ジェルネイル技能検定試験初級の為の学習						
B. アロマセラピーとは何かを学び、市場におけるアロマセラピーの役割、需要を知る。その中で、必要となる分析力・企画力・発想力を身に付ける。自分が活躍を希望する分野での将来像を見据え、商品・サービス・顧客対応など、幅広い視点からアロマセラピーを提供できる力を習得する。						
授 業 の 到 達 目 標						
(1) ネイルケア、カラー、アートの学科知識、施術技術の習得						
(2) JNEC ネイリスト技能検定 3 級資格取得(全員)						
(3) ジェルネイルの学科知識、施術技術の習得						
(4) JNA ネイリストジェルネイル技能検定試験初級取得(希望者)						
(5) 接客技術の習得						
B. 香りの種類、効能がわかる。 香りによるイメージワークを通し、様々な場面を想定しながら、企画の立案、工夫、対外的に発表できるスキルが身についている。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
資格試験の可否			45%	%	%	45%
提出課題 企画書制作・情報収集			10%	10%	10%	30%
受講態度・プレゼン			%	10%	20%	30%
出欠率			%	%	10%	10%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						

A. JNA テクニカルシステム ベーシック JNA テクニカルシステム ジェルネイル JNEC ネイリスト技能検定試験筆記試験「公式問題集」 ネイルケア商材一式 ジェルネイル商材一式 アート用具一式 B. アロマセラピー精油事典 バーク文子（成美堂出版） 精油・実習材料検討中 ビーカー アルコールスプレー 容器タオル 洗剤 画用紙 色鉛筆			
授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1、ネイル道具の確認、検定の説明	2		
2、テーブルセッティング、キューティクルケア			
2-1 テーブルセッティング、ファイリング、メタルプッシャーの使い方	4		
2-2 クリーンナップ、ニッパーの使い方	1 2	○	
3 カラーリング	8		
ケア～カラーリング 5 5 分	2 0	○	
ネイルアート	4		△
ネイリスト技能検定試験 3 級通し練習	2 5		
検定の注意事項、モデルの確認	1		
模擬試験	4	○	○
4. ジェルの道具の確認、基礎知識	2		
ジェルカラーリング	8	○	
B.			
1、アロマセラピーについて			
1-1 アロマセラピーとは	2		
1-2 アロマセラピーの精油（歴史）	2		
3 アロマセラピーなどの自然療法と美容・健康	2	○	
2、アイデアについて			
2-1 アイデア発想（シチュエーション＋マインドマップ）	2	○	○
2-2 取組課題選択	2		
2-3 企画立案	4		
2-4 中間報告	2	○	○
2-5 最終企画立案、企画書作成	4	○	○
3、プレゼンテーション	4	○	○
その他	関連科目		
実務経験のある教員が担当する科目である。			

2025年度

メイク・ブライダル科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度		
					科目コード	M2-K05		
時間数は45分換算								
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス			
文化教養Ⅱ					メイク・ブライダル科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	前期	必修	20	1	伊藤 麻衣子			
授 業 の 目 的								
変化の激しいメイク・ブライダル業界への理解を深める事で、自らも何を学び身に付ければよいか考える機会を得る。日本だけではなく、海外での創造性を向上し豊かな表現力を高める。 業界イベントなどの参加。								
授 業 の 到 達 目 標								
メイク・ブライダル業界史が理解できる。 市場ニーズ把握や的確な提案ができるお客様視点を身に付けている。 インターナショナルな感覚を身に付け、国産だけでなく外資系ブランドの概要を理解できる。								
授 業 方 式								
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型				
授 業 形 態								
講義	○	演習		実験・実習・実技				
アクティブ・ラーニング								
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○			
ロールプレイ	○	P B L		反転授業				
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業				
その他								
成 績 評 価 の 方 法								
評価項目		評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
レポート					20%	20%	30	70%
受講態度							20%	20%
出席							10%	10%
使用テキスト・教材								
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画								
内 容					時間	課題 試験	評価	

1. ブライダルイベント	4		
2. 化粧品流通論			
2-1 化粧品販売	2		
2-2 ブランド分布 グループブランドについて	4		
2-3 ブランド研究	4		
3. 外資系ブランド 海外の美意識 2	2		
4 舞台化粧の歴史 イベント	4		
その他	関連科目		
	文化教養 I		

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M2-K07
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
接客Ⅱ					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	60	2	安部 珠恵・河崎 グロリア	
授 業 の 目 的						
A. 接客業務に携わる者として、サービスの意義や価値を理解し、お客様に対するおもてなしの心とそれを具現化する型を学ぶ。学生は接遇1で学んだ接遇者としての話し方、正しい敬語の使い方を活用し、メールや書面でも顧客対応ができるようになる。 これら現場で使える社会人力、サービス接遇能力の証明としてサービス接遇検定2級を取得する B. 外資化粧品メーカーは、英語での就職面接を行う場合もあり、英語での表現力が求められている。外国からのお客様増加に伴い、簡単な英語接客スキルを身に付けていく。 また、語学のみならず外国人に接し日本のおもてなしの心を英語で体現できる国際感覚を持った人材育成を目指す。						
授 業 の 到 達 目 標						
A. (1)挨拶、お辞儀、所作などがブライダル業界で通用するレベルにできる (1)適切な敬語で電話対応ができる (2)クレーム対応の流れを理解し、実践できる (3)冠婚葬祭で使用する慶弔マナーを理解できる (4)サービス接遇検定2級を取得できる B ・ カウンセリングから仕上げまで全て英語で行うことができる ・ 外国のお客様に積極的にコミュニケーションを取ることができる ・ メイク関連の語彙（単語・表現）を身に付ける						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
A サービス接遇検定（筆記）			50%			50%
模擬試験（筆記）			50%			30%
課題					10%	10%
授業態度					10%	10%
B. 最終実技試験			30%	30%		60%
小テスト			10%			10%
課題（ロールプレイ）			5%	15%		20%
受講態度					10%	10%

使用テキスト・教材			
楽々合格サービス接客検定 2 級+準 1 級 集中レッスン&問題集 サービス接客検定 3 級 実問題集 早稲田出版 オリジナル英語教材（プリント）			
授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
A			
1. 接客復習	2		
2. 敬語の使い方、接客用語	2		
3. クッション言葉ロールプレイング	2		
4. 館内アナウンスの言葉遣い	2		
5. 掲示文の作り方	2		
6. 社外文書の作り方	2		
7. 社交業務	2		
8. 冠婚葬祭のマナー	2		
9. お茶の入れ方、案内の仕方実践	2		
10. 記述問題	8		△
11. 過去問題と解説	2		
12. 接客ロールプレイング	2	○	○
13. 準一級対策	5		△
B			
1. 1 年次の復習（接客表現・単語）	2		
2. メイク関連語彙	2		○
3. リスニング／語彙	2		○
4. お客様の要望を伺う表現	2		
5. 実習時の英語表現 ロールプレイング練習	6	○	
6. 英語紹介動画撮影	4	○	○
7. まとめ	2		
その他	関連科目		
この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である			

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度
				科目コード	M2-K10
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス
メイク応用					メイクブライダル科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必須	180	6	吉川香織・ 岡野訓子・安部珠恵 伊藤麻衣子
授 業 の 目 的					
A. 美容接客に必要なカウンセリングや美容理論をロールプレイングを通して学ぶ。 B. ショーやステージ、撮影におけるメイクの特徴を理解し技法、知識を習得する C. ・一般メイクとメディカルメイクとエアブラシメイクの効果・違い・有用性の理解。 ・メイクアップの多様性と心理的效果を知り、その対応、アプローチ方法の理解。 D. メイク、ブライダル業界ではお客様の要望に応えるために色彩の知識が必須となる。差別化を図るうえで重要な「似合う色」を提案できることは業界においてもますます重要視されている。そのため、学生は1年で学んだパーソナルカラーの理論をメイク、ブライダル、ネイルで応用提案できるようにし、また、パーソナルカラー検定モジュール2の取得をすることによってその色彩感覚やカウンセリング力を証明することができる。 E. B. JMA 検定1級取得にむけた接客技術習得。 ・多様化するお客様のニーズに応えるとともに、プロとしての提案や、似合わせが出来るようイメージメイク理論を習得する。自分の好みや感覚ではなく、メイク理論に沿った実習が出来ることで、お客様に支持され選んで頂ける人材になる。 ・多様なニーズを見極め、メイクの可能性やニーズを見極められる広い視野を持つ。 ・所作、マナー・接客態度・知識技術のすべてを総合して美の提供をする自覚をもち行動する。 ・現場に必要な柔軟性や、時間間隔を身につける。					
授業の到達目標					
A. お出迎えからお見送りまでの接客の流れを行うことが出来る。 B. 筋肉、骨格に沿ったメイク技術の習得。 様々なシチュエーションでの女性像をメイクで表現できる力を身につける。 C. メディカルメイク・エアブラシメイクの基礎技術のマスターと応用手法のマスター。 人の手を通してメイクアップする事の有用性を理解しメイクの技術を使って人と繋がり共感して、より効果的提案と技術と指導、手ほどきすることで、社会に貢献する仕事を行える事を目的とする。 D. (1)照明の色、目の構造、肌の色素構成を理解し、色を多方面から考慮することができる (2)複雑な配色手法を理解し、誰もが美しく見える配色を作ることができる (3)色をPCCS表記とマンセル表記で読むことができる。 (4)パーソナルカラーをメイク、ブライダル、ネイルの分野で応用することができる (5)パーソナル検定モジュール2を取得することができる。 E. B. JMA 検定1級内容が身についている。イメージ理論が理解できる。 フェイスだけでなくボディのペイントやメイク技法が出来る。 条件にふさわしいアイテムの選定が出来る。 モデルの顔に似合わせができ、プランや実技を通しての提案実習が出来る。 顔の個性の分析、判定、修正と調整ができ、お客様に説明が出来る。 年代別ポイントを押さえてスキンケア、メイク実習が出来る。 多様なメイクニーズを想定できる。ブラインドメイクアップの理解実施が出来る。 現場を常に想定した時間管理、ヘアメイクプランニングが出来る。					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	△
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	

ロールプレイ	○	P B L		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他					
成績評価の方法					
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目					
修了時テスト（筆記・実技）		25%	20%		45%
臨時テスト（筆記）		20%			20%
課題		15%			15%
授業態度				20%	20%
B					
実技試験①		20%	15%		35%
実技試験②		20%	15%		35%
授業態度、出席率		%	%	30%	30%
C.					
メディカルメイクカバー技術・肌色判別		40%			40%
エアブラシ機材使用力とメイクテクニック力			40%		40%
エアブラシメイク応用・活用品の製作力				20%	20%
D					
検定試験		50%			50%
模擬試験		30%			30%
課題				10%	10%
授業態度				10%	10%
E					
実技試験①		20%	15%		35%
実技試験②		20%	15%		35%
授業態度、取り組み度、出席率				15%	15%
使用テキスト・教材					
A. メイクボックス					
B. エアブラシメイク機材・メディカルメイク・メイク道具一式・フェイクタトゥーシール・ステンシル・アルコールパット					
C. 色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト モジュール2：中級 モジュール2 配色ワークブック					
授業内容・授業計画					
内 容			時間	課題 試験	評価
1. お客様視点について			1		
2. クレームとは			1		
3. スキンケア診断			4	○	
4. メイク診断			4		
5. カウンセリングトレーニング			10		○

6. お出迎えからお見送りまで	2		
7. 待機姿勢	2		
8. トータルビューティ提案	2	○	△
9. ロープレテスト	4	○	○
B.			
1. エレガントメイク	2		
2. クールメイク	2		
3. キュート、ボーイッシュメイク	2		
4. モンスターメイク	1		
5. ドラッグクイーンメイク	2		
6. ゾンビメイク	1		
7. 老人メイク	1		
8. 実技試験①	2	○	○
9. 実技試験②	2	○	○
C.			
1・メディカルメイクとは	2		
1-1 DVD 鑑賞		○	
鑑賞後グループディスカッション			
2・メディカルメイク	2		
2-1 メイク用品素材と最適選び			
2-2 メディカルメイクの実習			
3・エアブラシ取り扱いと基本動作	2		
3-1 機材セッティング方法・基本動作			
3-2 ファンデーションの種類・違い知識			
吹付け実習・クリーニング実習			
4・エアブラシメイクテクニック パーツ別理論と技術実習			
4-1 肌へのメイクアップ ムラのでないテクニックマスター	2		
4-2 アイブロー・アイシャドウの描き方 ステンシル活用	2		
4-3 カントア・リップ	4		
4-4 フルメイク立体の捉え方	4		
4-5 ナチュラルメイク	4		
4-6 クリエイティブメイク	4		
5・実技テスト・応用制作・ステンシル活用 相モデル	4	○	○
D.			
1. 色彩学復習	2		
2. パーソナルカラリストの色知識	2		
3. 色の属性と効果 顔の見え方	2		
4. マンセル表色系と PCCS 表色系	4	○	
5. 慣用色名	2		
6. 色が見える仕組み 光源 肌の色 目	2		
6-1 光源	2		
6-2 肌の色	2		
6-3 目	2		
7. 配色方法	2		
8. 色彩調和論	2		
9. 検定過去問題演習	4	○	△

10. ブライダル、メイク、ネイルへの応用	2		
E.			
1. イメージメイク理論			
1-1. イメージの分類	2		
1-2. 色・質感・シェイプ	4		
1-3. 顔分析・修正	8		
1-4. プラン作成	4	○	○
2. メイクカウンセリング			
2-1. メイク提案	4		
2-2. 真逆のイメージ転換テスト	4	○	○
2-3. 顔分析の伝え方	2	○	○
3. マチュア			
3-1. マチュアの肌悩み	2		
3-2. マチュアのメイク	2		
4. ブラインドメイキャップ			
4-1. ブラインドメイクとは	2		
4-2. DVD 視聴	2		
4-3. ブランドメイク提案 カウンセリング	2		
5. ボディジュエリー	2	○	○
6. ボディペイント	4		
6-1. ステンシル制作 コンセプト抽出	2	○	
6-2. フェイス・ボディ水性ペイント	2		
7. まとめ デザイン	2	○	
実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M2-K12
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
ヘア応用					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	90	3	太田洋・青木俊典 波多野千夏	
授 業 の 目 的						
A. 4パターンのヘアイメージクリエーションの特徴を理解し、実習・提案ができる 4×2B理論により技術の選択ができる 理論を使用し、最短裁量のプロセスでお客様の要望を具現化し、提案型のカウンセリングができる カウンセリングからお客様に合わせた、似合わせ、印象によるヘアアレンジを表現する B. 顔骨格をもとにまとめ髪のフォルムプランニングを学ぶことによって2年間で学んだアップ技術 をより実践的に使いこなせるスキルを身につける。 卒業制作に役立つスキルも身につける。 C. かつら体験や七五三から年配の方のヘアセットまでを学び、 どんな場面でもヘアセットが出来るプロを目指す。						
授 業 の 到 達 目 標						
A. 女性像4大イメージを理解し、イメージの選択ができる ① 4×2B理論を習得後、自分でヘアデザインを作成・実習する ② プレゼン、デモンストレーション、ロールプレイングの実習から提案型カウンセリングの習得 ③ お客様への似合わせ、印象によるヘアアレンジを表現する B. ①顔骨格・デザイニングを座学で学ぶ ②診断方法とフォルムづくりの落とし込む方法を自らの骨格から学ぶ ③似合わせを実践的に相モデルで学び検証する ④カットやエクステで+@のまとめ髪を学ぶ C. 実際の花嫁のかつらをレンタルし、かぶせ方、試着体験、かんざしの付け方を学ぶ 子供のヘアセットのバリエーションを増やし、スピード感を持ったセットが出来るようになる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
終了時テスト			30%			30%
随時テスト			30%			30%
受講態度、					20%	20%

技術のスピード、理解度、	10%	10%		20%
B.				
・ 終了時テスト（相モデル・実技）	30%	20%		50%
・ 終了時テスト（筆記）	30%			30%
・ 受講態度			20%	20%
C				
試験	40%			
授業態度	60%			
使用テキスト・教材				
無限に作れる奇跡のヘアセット UP STYLE 1. 2. 3 !				
授業内容・授業計画				
内 容	時間	課題 試験	評価	
A				
1. 女性像 4 大イメージの法則	1			
2. 4 × 2B 理論				
2－1 ケース 1	2			
2－2 ケース 2	2			
3. 4 × 2B 理論応用				
3－1 ケース 1	2			
3－2 ケース 2	2			
3－3 ケース 3	4	○	△	
4. カウンセリングと提案からの作成・実習				
4－1 プレゼン、デモンストレーション、ロールプレイング	1			
4－2 似合わせ	2			
4－3 作成・実習	5			
5. 終了テスト	2	○	○	
B.				
・ 顔骨格とデザイニング（座学・演習）	1			
・ 顔骨格診断方法	1			
・ 顔骨格診断の落とし込み方	2			
・ TPO を踏まえたまとめ髪	2			
・ +@ のまとめ髪（カット・エクステ）	2			
・ 施術プロセス、コンサルテーション、フィニッシング	2	○	○	
・ 個々でテーマを決めて実践まとめ髪テスト（相モデル）	2	○	○	
C.				
1. 子供のヘアアレンジ	6	○		
2. かつら体験（かんざし、綿帽子、角隠しの付け方）	4			
3. 年配の方のヘアアレンジ	4			
4. 成人、卒業のヘアアレンジ	4	○	○	
5. 男性ヘアセット	2			

その他	関連科目
この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である	

シラバス（授 業 概 要）					年 度	202 年度
					科目コード	M2-K14
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
クリエイションⅡ					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2 年	前・後期	必須	150	5	若澤明弘・金田いずみ 伊藤麻衣子	
授 業 の 目 的						
A. 写真撮影の基礎技術を学び想定した人物像を表現する。 達成目標に向けた企画・立案・調査・分析が出来る。 フォトコンテストで入賞を目指すスキルを積み上げる。 グループワークで協調性とリーダーシップを養う。 B. イメージやコンセプトに合わせたヘアメイク表現、発信をする。 コンテスト応募。C. 卒業制作準備						
授 業 の 到 達 目 標						
A. 好きを得意にしてマルチに活躍出来る人材に育てる。 目標を完遂する為に必ずトライ＆エラーを繰り返し俯瞰で自己管理が出来る人間になる。 チームワークを保ち且つ仲間を引き上げる力を付ける。 独創性と創造性を発揮してクライアントニーズに応える。 B. コンセプトに合わせた、色・形・質感を選んだヘアメイク作品が出来る。 ビューティーメイクとは異なるスケールや表現方法が身に付いている。 C 卒業制作のコンセプトとデザイン画作成が出来る。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク	○	プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
機材の使い方が正確に習得されている			10%		%	10%
撮影前に必ず目標が設定されている				10%	10%	20%
グループワークでの協調性・リーダーシップがある				10%	10%	20%
ライティング・レイアウトは自発的に提案が出来る			10%			10%
作品の意図にあったメイク・ヘアーがなされている			20%	20%	30	70%
新しい試み積極的に参加出来る					10%	10%
プレゼンテーション				10%	10%	20%

使用テキスト・教材			
A マニュアル（プリント） カメラ機材 照明機材 B. C メイクボックス・PC			
授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
A			
機材取扱・今期の方針と目標（カメラの使い方）	4		
人物撮影・被写界深度の仕組み（屋外）2回転（A班・B班）	4		
人物撮影（スタジオ）基礎2回転（A班・B班）	4		
人物撮影（スタジオ）マーケティングプラン	4	○	○
動画制作 30秒で表現する2面性を持った女性	4		○
フォトコンカメリハ2回転（A班・B班）	8		
フォトコンカメリハチェック	2		○
フォトコン本番シューティング2回転（A班・B班）	8	○	○
フォトコン最終チェック・考察	2		○
B.			
1. テーマに沿ったデザイン制作	4	○	○
2. 目のデザイン	6		
2-1. アイメイクとアイラッシュのバランス			
2-2. パーソナルカラーとカラーコンタクト			
2-3. 眉毛消し 白塗り			
3. ヘアーバランス	6		
3-1. ウィッグの付け方・カラースプレー			
3-2. ヘアーデザイン 装飾デザイン			
3-3. 装飾制作		○	○
4. モデルに合わせたデザイン制作	6		
6. 作品作り			
7. コンテスト作品	14	○	○
7-1. コンセプト抽出			
7-2. デザイン制作			
7-3. ウィッグ・小物・衣装制作			
9. コンテストヘアメイク リハシューティングから調整	4		
10. 本撮影	8		○
11. 総評	8		
C. クリエーションコンセプトマップ			
1-1 コンセプトとビューティ表現	4		
2-2 マップ制作	12		
2-3 メイクアイテムと表現	4		
2. マッププレゼンテーション			
2-1 コンセプト・グループ決め	6		
2-2 プレゼンテーション準備 デザイン画	12	△	△
2-3 発表	4	○	○
3. 作品作成	8		○
その他	関連科目		

実務経験のある教員が担当する科目である。	
----------------------	--

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	M2-K16
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
ブライダル実践					メイク・ブライダル科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	180	6	波多野千夏・山下 麻由子	
授 業 の 目 的						
A. ヘアメイクに携わる仕事の内容を把握し、技術だけではないお客様との関わり方を学ぶ 結婚式に関わるすべての業務や施行の流れも学び、模擬結婚式が出来るようにする B. ウェディングに携わる者としての心得や、ブライダル業界の仕事内容、ウェディング全般に関わる 為の知識を学び、ブライダルのホスピタリティ力を身につける。 また就職活動での面接指導や、グループディスカッションを通し自己表現する力を養い、就職活動 に有利となるトレーニングを行い表現力を身につける。						
授 業 の 到 達 目 標						
A. 実際の結婚式と同じように危機管理や時間内でのヘアメイク、着付けを学ぶ インターシップに参加できるように、実際の業務内容を授業内で体験する B. ・実際のウェディング業界の仕事内容を理解することができる（ブライダル基礎を学ぶ） ・現場でのホスピタリティ力を実践できる ・結婚式場での職業体験を通し現場での応用力を身につけることができる ・グループディスカッションでの発言力を身につけ、面接時で実践できるようにする ・プランニングを通して個性を磨くことができる ・採用試験と類似した面接練習を行い応用力を身につけることができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
A. 随時テスト			30%			30%
授業態度			30%			30%
模擬結婚式への関わり方			40%			40%
B. 実践授業			10%	10%	10%	30%
授業態度			10%		30%	40%
プレゼンテスト			5%	20%	5%	30%

使用テキスト・教材			
授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
A.			
1. 模擬結婚式について	2		
2. 危機管理、対応の仕方	2	○	
3. カウンセリング	2		
4. 洋装ヘアメイク	8		
5. 和装ヘアメイク	8		
6. カウンセリングしながらヘアメイク	10		
7. お色直し、時間内でのチェンジの仕方	8		
8. 紋付着付	4	○	
9. 打掛着付	12	○	
10. フォトスタジオでのヘアメイク	2		
11. アテンドの仕方	12		
12. 模擬結婚式テーマ決め	2		
13. 模擬結婚式役割決め	2		
14. 会場見学、衣裳合わせ	4		
15. 模擬結婚式練習	64		○
16. 模擬結婚式	8		
B.			
1. ブライダル業界の仕組み	2		
2. ウェディングプランナーとは	4		
3. 面接での答え方			
3-1 ピックアップされる人材とは	2		
3-2 自己紹介について	4	○	○
3-3 面接での心得	2		
4. 結婚式場での仕事内容			
4-1 サービス業の心得	4		
4-2 進行表・席次表の読み方を理解する	4		
4-3 式場にて実践授業	6	○	○
4-4 振り返り	2		
その他		関連科目	
実務経験のある教員が担当する科目である			

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度	
					科目コード	M2-K18	
時間数は 4 5 分換算							
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス		
伝統実技Ⅱ					メイク・ブライダル科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	30	1	ハクビ京都きもの学院		
授 業 の 目 的							
和装についての知識を高め留袖、振袖を着付けるスキルを身につける。 プロとして美しさと心地よさを追求した着付けを身につけるために、体型に合った補正の基礎を重点的に学ぶ。 フォトスタジオ・ブライダルの現場で必要な和装の知識を身につける。							
授 業 の 到 達 目 標							
・ 体型にあった補正の必要性手順を理解し、実習できる。 ・ 必要な小物類の名称や役割が理解できる。 ・ 留袖・振袖が手早く美しく着付けられる。							
授業方式							
対面	○	ライブ型			オンデマンド型		
授業形態							
講義		演習	○		実験・実習・実技	△	
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク			プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L			反転授業		
対話・議論型授業		調査学習			教えあい授業		
その他							
成 績 評 価 の 方 法							
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
評価項目							
実技テスト			20%		30%	50%	
補正			20%	10%	20%	50%	
使用テキスト・教材							
典雅着物テキスト							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
内 容				時間	課題 試験	評価	
1. 振袖・他装							
1-1. 着付け準備・体型補正長襦袢の着せ方				2			
1-2. 補正 着物着せ				8			
1-3. 帯（飛鳥）				4		△	
1-4. 帯締め・帯揚げ				4			

2. 通し練習	8		
3. テスト・まとめ	4	○	○
その他			

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度
				科目コード	M2-K20
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス
トータルビューティⅡ					メイク・ブライダル科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	90	3	疋田 聡子・奥原 麻美 植田彩乃
授業の目的					
A. 健康であることを大前提として、美を捉える。健康的な生活を送ることに加えて、ヨガやアロマを活用した体内からの美へのアプローチを考える。予防医学・健康・美容としての観点から、包括的に美を捉え、基本的知識を知る。 B. 一年時に得た知識、技術をレベルアップさせ、実際のサロンワークや接客時に必要となる応用力、発想力、提案力を身に付ける。 より実践に近い、自分で考え動く行動力と応用力、それを実現させるために必要となる知識と技術力を高めていく。 C. 基本的なフェイシャル・ボディ・ハンドの技術をできるようにする。 脱毛の知識、消毒・タオルワークなど一通りできるようにすることで、サロンワーク時に柔軟に対応できるように技術・知識を身につける。					
授業の到達目標					
A. アロマやヨガを活用した健康を重視した美へのアプローチを知る。また、顧客の心に寄り添うための基礎知識、スキルを身に付ける。 B. ジェルネイル、アートの学科知識、施術技術の習得 (1) JNA ネイリストジェルネイル技能検定試験初級取得（希望者のみ） (2) サロンワークで応用できるようなアートの知識、施術技術の習得 (3) 学科集大成となる作品の制作、提出 C. フェイシャル・ボディ・ハンドの技術・知識を理解し、一通り流れでできるようにする。					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	△
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○
その他					

成績評価の方法				
評価項目	知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
A.				
授業態度			20%	20%
実習	50%			50%
プレゼンテーション		15%		15%
期末テスト		15%		15%
B.				
資格試験の可否（受験者のみ）	30%			30%
提出課題	10%	10%	10%	30%
受講態度		10%	20%	30%
出席率			10%	10%
C.				
修了時テスト（筆記・実技）	25%	20%		45%
臨時テスト（筆記）	20%			20%
課題	15%			15%
授業態度			20%	20%
使用テキスト・教材				
A. ヨガマット、バスタオル（ブランケットなど）、アロマ精油、オイル				
B. ネイルセット UV ランプ				
授業内容・授業計画				
内 容	時間	課題 試験	評価	
1、オリエンテーション				
自己を知り、気付く マインドフルネス	1		○	
2、メンタルヘルスとアロマセラピー				
2-1 アロマヨガとは 香りとヨガ	1			
2-2 アロマヨガの実践	2		○	
2-3 アロマヨガを活用する（キッズからシニアヨガ）	1			
3、アロマをビジネスとして考える		○	○	
ディスカッション・プレゼンテーション	2			
4、最終テスト	1	○	○	
B.				
ジェル手順復習、デモ、実習	4			
ピーコック デモ、実習	4			
ジェル検定初級内容確認、解説	2			
ジェル検定初級技術デモ、実習	18	○	○	
グラデーションアート デモ、実習	2			
フレンチアート デモ、実習	2			
ストーン、パーツ、シール、ホイルなどアート デモ、実習	4		○	

ニュアンス、ドット、フラワーアート デモ、実習	4		○
作品制作	4		○
C.			
1. タオルワーク・施術の事前準備について	2		
2. 実技を行なうにあたり大切な知識・身体のしくみ	2		
3. ハンド マッサージ実習	4	○	○
4. フェイシャル実習・クレンジング	4		
5. フェイシャル実習 マッサージ・パック	4		
6. フェイシャル実習 一通り流れ	4	○	○
7. ボディ実習 各手技	4		
8. ボディ実習 下肢	4	○	○
9. 脱毛について学ぶ	2		
その他	関連科目		
実務経験のある教員が担当する科目である			

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度	
					科目コード	M2-K21	
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス		
卒業制作					メイク・ブライダル科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	100	3	伊藤 麻衣子		
授 業 の 目 的							
2年間の学びの集大成として作品制作を行う。 長期的に作品を構築、精査し完成させることでプロジェクトの進め方や他社とのかかわり方を学ぶ。 自己満足ではなく、作品を発信する目的を考察、外部とのかかわり方を学ぶ。							
授 業 の 到 達 目 標							
ヘアメイク・ネイルなどの美容を通じて発信を行うことができる。 目的にふさわしい発信の手段を精査できる。 個人ではなく、チームでの作業や進捗確認・修正ができる。							
授業方式							
対面	○	ライブ型		オンデマンド型			
授業形態							
講義		演習	○	実験・実習・実技	△		
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク	○	プレゼンテーション	○		
ロールプレイ		P B L	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○		
その他							
成 績 評 価 の 方 法							
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
評価項目							
コンセプト抽出				30%		30%	
プレゼン					20%	20%	
制作			30%			30%	
発信力					20%	20%	
使用テキスト・教材							
メイクボックス 資料プリント							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
内 容				時間	課題 試験	評価	
1. コンセプト抽出							
1-1. コンセプトリサーチ				30			
1-2. 講師プレゼン				4			
2. デザイン制作							

2-1. デザイン画	30	○	○
2-2. 実習	6		
2-3. 全体確認	10		
2-4. 講師・一年プレゼン	4		△
3. モデル実習			
3-1. 実習制作	60		○
3-2. 中間報告	2		
3-3. 制作発表	2	○	○
その他	関連科目		
実務経験のある教員が担当する科目である。			